

八千代地区礼祭 土俵造成に協力

平田建設があめ
すくいなど出店

【帯広】平田建設(本社・土幌、野中栄忠社長)は3日、地域貢献活動の一環で、帯広市八千代地区の秋季礼祭の会場づくりやイベントに参加した。



写真

同社は、十勝総合局発注の畑総川西地区51工区を施工中。現場事務所に地区会館を借りているほか、車両運行などで地域住民の協力を得ていることから、お祭りに参加協力した。

台風12号の影響で雨が予想されたため、八千代神社境内で行う子供相撲の土俵を前日に、隣接する吉田農場のハウス内に造成。当日は、ラジコンのバックホーのあめすくいやヨーヨー釣りの出店で子どもたちに楽しんでもらった。

平岡亮介現場代人は「地域の理解で無事に工事を進められている」と感謝の気持ちを話していた。